

2013年8月3日(土)～9月29日(日)

会期中展示替を行います 展示期間はお問合せ下さい

休館日：8月5日、9月2日・9日

開館時間：10:00-16:30 (入館は16:00まで)

料金：一般 800円 大学・高校生・65歳以上 500円 中学生以下 無料

土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師 無料

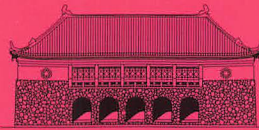
20名様以上の団体 100円引

主催：大倉集古館

協力：(株)ホテルオークラ東京、大成建設(株)、特種東海製紙(株)

館蔵品展

# 大倉コレクションの精華 Ⅱ —近代日本画名品選—



公益財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3

(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)

TEL03-3583-0781 <http://www.shukokan.org>

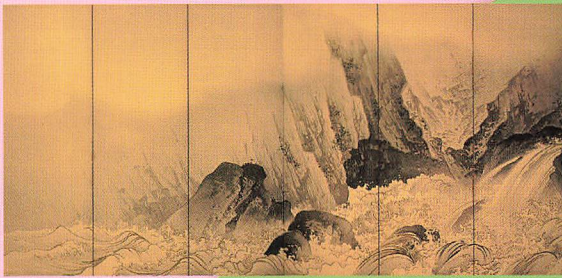


上から  
田中岫哉「水鳥」(部分)  
橋本関雪「暖日」(部分)  
松尾昆華「月下鳴機」  
宇田秋都「淀の水車」(部分)  
山口蓬春「木瓜」

上から  
川合玉堂「秋山懸瀑」  
渡田春草「雨後」  
横山大観「夜桜」(右隻・部分)  
大智勝観「梅雨あけ」(部分)  
小林古径「木菟園」(部分)

左 重要文化財 前田青筥「源義の頼朝」(部分)  
©Y.MAEDA & J.ASPAR, Tokyo, 2013 E0520

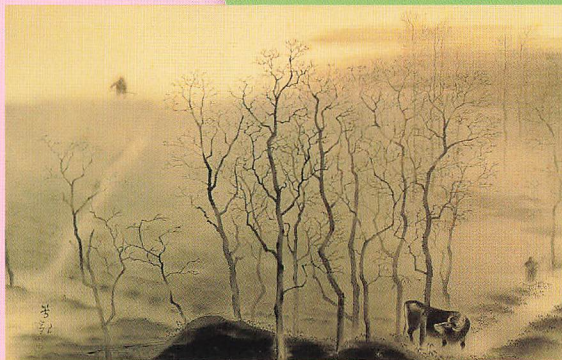




川合玉堂「奔潭（左隻）」



児玉素光「山の湯」

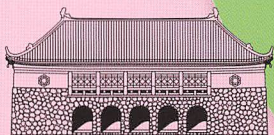


筆谷等観「春耕」



交通案内

東京メトロ 南北線 六本木一丁目駅より5分  
日比谷線 神谷町駅より7分  
銀座線・南北線 溜池山王駅より8分  
銀座線 虎ノ門駅より10分



公益財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (ホテルオークラ東京本館正面玄関前)  
TEL03-3583-0781 ホームページ <http://www.shukokan.org>

大倉財閥を継いだ長男・喜七郎は、父の残した蒐集品に更なる息吹を加えました。同時代の新しい画家たちを擁護し、その発展に尽力を続ける中で、昭和5年に実現させた「羅馬開催日本美術展」は喜七郎による芸術支援の白眉となりました。本展では「ローマ展」に出品され世界に向けて日本の美を印象づけた近代絵画の優品を中心に、明治から昭和にかけての日本画コレクションを紹介します。

主な展示作品 ※展示期間は変更になる場合があります

横山大観「夜桜」 昭和4年 ※8月3日～9月1日

川合玉堂「奔潭」「秋山懸瀑」 昭和4年

下村観山「不動尊」 大正14年

菱田春草「雨後」 明治34年 ※9月3日～29日

鏑木清方「七夕」 昭和4年 ※9月3日～29日

小林古径「木菟」 昭和4年 ※8月3日～9月1日

重要文化財 前田青邨「洞窟の頼朝」 昭和4年

速水御舟「鯉魚」 昭和4年 ※8月3日～9月1日

宇田荻邨「淀の水車」 大正15年

ほか

休館日：8月5日、9月2日・9日

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで)

料金：一般 800円

大学・高校生・65歳以上 500円

中学生以下 無料

土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師 無料

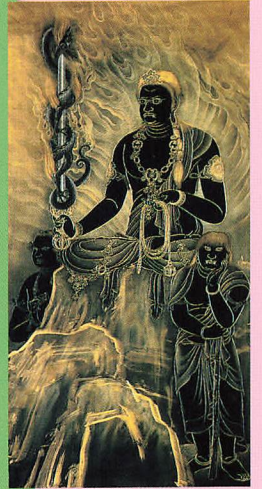
20名様以上の団体 100円引き

主催：大倉集古館

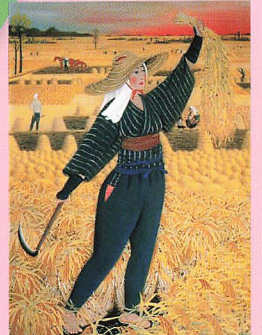
協力：(株)ホテルオークラ東京

大成建設(株)

特種東海製紙(株)



下村観山「不動尊」



酒井三良「豊穰」

併催展覧会

第19回 秘蔵の名品アートコレクション展

モネ・ユトリロ 佐伯と日仏絵画の巨匠たち

フランスの美しい街と村のなかで

芸術の都「パリ」とその近郊の風光明媚な「村」に焦点を当て、魅力的な情景と人々を描き出した名品を約90点展示いたします。

日時：2013年8月7日(水)～9月1日(日)

10:00～18:00 (7日 12:00～18:00)

会場：ホテルオークラ東京

別館地下2階「アスコットホール」

一般 1,200円 (前売 1,000円) 大学・高校生 1,000円 (前売 900円)

※ホテルオークラ東京では、

お得なランチセット券 (4,000円/6,000円) も販売しております。

※「大倉コレクションの精華II」との

共通入場券となります。



佐々木尚文「放生司」



速水御舟「鯉魚」

次回展示のお知らせ

10月5日(土)～12月15日(日)

特別展「描かれた都—開封・杭州・京都・江戸—」

日本と中国の絵画において都市の景観や風俗などを画いた作品を中心に展覧します。時代の中心をなす文化の発信地としての都市のイメージは、描かれることにより増幅され、地域や時間を超えて継承され、再生産されていきます。主に中世から近世の両国を代表するメトロポリスであり、画題としても好まれた4つの都、開封、杭州、そして京都、江戸をテーマとし、それぞれの都市とそこに生活する人々を画いた図が、互いに影響し合いながら成立していく様を見てゆきます。また、期間中に久隅守景筆「賀茂競馬・宇治茶摘図」(重要文化財)を修理後初公開いたします。

セット鑑賞券のご案内

ホテルオークラ東京のレストラン・バーとのセットです

喫茶券 1,800円/食事券 3,300円